

に心身の症状を呈しているのである。多くの場合は、時間の経過とともに消失する一過性の反応である。ただ、なかには精神科医による診察を必要とし、慎重に経過を見守る場合もある。

新入生に自覚して おいてほしいこと

人生初めてのひとり暮らし

入学当初に直面する悩みや心身の不調の背景として新入生諸君にぜひ自覚しておいてほしいことを、二点ほど述べておきたい。

まず、父親の単身赴任や高齢者のひとり暮らしがよく社会問題となるが、実は大学生もその多くは単身生活者なのである。しかも、それは生まれて初めての経験であり、人生でもっとも大きな生活様式の変化である。食事、洗濯、掃除、買物など身の周りの世話はずべて自分で行い、自分の力で規則正しい生活のリズムを維持していく。新入生のなかには、毎朝母親からのモーニングコールで目覚める生活を続けている学生もいるらしいが、遠方の親にしてもらえることは所詮限界がある。

「遠くの親戚よりも近くの他人」の諺とおり、同じ境遇の友人をつくるのが何よりも心強いものである。要するに、大学入学＝一人暮らしの始まりは一種の心理的な危機であり、その危機を無事乗り越えられるかどうかは、そ

れまでどの程度親離れが進んでいたかによる。したがって、この時期は人生におけるひとつの心の総決算期とも呼ぶことができるだろう。

西条キャンパスでのスタート

今年の新入生の六割は、西条キャンパスで学生生活のスタートを切る。私たちはこれまで、東千田キャンパスから西条キャンパスへ移転した学部を対象に、西条で、キャンパスに移ったことで学生が何を、何を失ったかを調べてきた。西条キャンパスは、自然に恵まれ勉強には最適な静かな環境が保証されている。しかし、西条キャンパスの周辺には若者に刺激を与えてくれる文化施設や気分転換できる娯楽の場所が少なく、いまだ学生と地域社会の人々との人間的なつながりも薄い。多くの学生は、半年も経てばこのような環境にも慣れてあまり強い不満を抱かなくなる。しかし、人間関係が苦手な学生は広島地

応援します君のキャンパスライフ カウンセリンググループの御案内

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。広島大学に入学された御感想はいかが

ですか。

ところで、いま君の心とからだの調子はい

保健管理センター心理相談室
総合科学部学生相談室

区のキャンパスの学生よりも孤立する危険性が高い。したがって、孤立しがちな学生に対しては、教職員としても積極的な援助の手を差しのべるが、学生諸君もそのような友人に対する配慮をお願いしたい。何よりも、人間関係が苦手だと自覚している学生諸君は、できるだけクラブやサークルに所属したり、友人の得られるようなアルバイトを探して、自らが孤独感や寂しさに支配されないように気を付けてほしい。

文献

- (一) 広島大学学生・厚生委員会・広大生はいま
— 統合移転と学生生活第一回学生生活実態調査。31—34、一九九〇。
- (二) 一円禎紀他・定期健康診断時心理相談の中間的総括と有効性の検討。総合保健科学、八、79—90、一九九二。
- (三) 中丸澄子・大学移転と学生—移転学部の調査から—。広大フォーラム、23(4)、20—23、一九九一。

かがですか。長い受験生時代を終えて待ちわびた大学生活を迎えるというのに、なぜか気分がすぐれないという人はいませんか。そういう人がいたら、ぜひ私たちキャンパス・カウンセラーを訪ねてください。

私たちカウンセラーについては、「一般教育の手引」の「保健施設及び相談施設」というページや各学部の掲示板に貼ってあるポスターでおおよそのことがわかりますが、ここではもう少し詳しく紹介させていただきます。

広島大学では、保健管理センターの「心理相談室」に四名、総合科学部の「学生相談室」に三名、計七名のカウンセラーがいます。私たちカウンセラーに持ち込まれる相談内容は、実に多種多様です。新生に最近目立つものをいくつかあげてみましょう。まず、転科・転学部や再受験の相談があります。とりあえず入学したものの、これからの自分の進路に不満や疑問を持っている人たちの相談です。実際には転科・転学部はかなり困難な状況にあります。私たちが一緒に考えていく中で納得できる方向が見えてくるものです。また、最近では宗教への勧誘やキャッチセールスにつきもののトラブルに巻き込まれての相談もあります。これは、親元から離れて心細い思いで過ごしている新生が陥りやすい落とし穴です。問題がこじれないうちに早めに相談に来てください。さらに、中学生や高校生と同じように「登校拒否」を起こす大学生も少なくないのです。このような場合は、悩みを抱え

ている学生本人だけではなく、その父兄の方や友達も心配して相談に来ます。周囲が手をこまねいて見ているよりも、身近な人が私たちカウンセラーを訪ねることはとても良いことだと思います。

それでは、相談したいとき「学生相談室」と「心理相談室」のどちらを選べばよいのでしょうか。どちらも、受付ける相談内容とくに制限はもうけておりません。ですから、どちらを利用してもらうのもいいのです。ただ、興味深いことに、皆さんの先輩の利用状況をみると、学生諸君が二つのカウンセリングルームを上手に使っているようです。つまり、「学生相談室」には、転科・転学部などの「修学・進路」の相談が多いのに対して、「心理相談室」には、「登校拒否」などの「心の健康相談」が多いのです。「学生相談

室」のカウンセラーは総合科学部の教官として一般教育課程のカリキュラムにくわしく、「心理相談室」のカウンセラーは医務室・保健室の精神科医と密接に連携プレーをしていることを考えると、とても上手な利用法だと思います。

私たちカウンセラーは一人ひとりの悩みの相談に応じるだけではなく、もつと積極的に自己の内面をみつめたい人のために、「自己表現セミナー」（心理相談室）「エンカウンター・グループ」（学生相談室）などの場も提供しています。「自己開発」をめざすこのような心理学的アプローチについては、その都度案内しますので、興味のある人はぜひ参加してください。

それでは、もう一度。「応援します 君のキャンパスライフ」

エイズ感染爆発前夜の意味

教育学部家政教育学講座（児童保健学）

稲垣 稔

エイズウイルスとは

エイズは Acquired Immune Deficiency Syndrome (AIDS 後天性免疫不全症候群)

という名の疾患である。病原体は通称エイズウイルスと呼ばれている Human Immunodeficiency Virus (HIV) とらうレトロウイルスである。通常のウイルスとは異なり、この HIV は自己 RNA を逆転写酵素の存在下に直接 DNA に変換、複製していく。もともと